

施設サービス評価（自己評価）詳細 ～ふわり～

							A…aが60%以上 B…aが60%未満～20%以上 C…20%未満										
カテゴリ	サブ カテゴリ	評価項目	標準項目	職員 ①	職員 ②	職員 ③	職員 ④	職員 ⑤	職員 ⑥	サブカテゴリ集計 ※小数点以下四捨五入	総合評価						
1. リーダーシップと意思決定	1. 事業所が自指していることの実現に向けて一丸となっている	1. 事業所が自指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	事業所が自指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している							a…100% b…0% c…0% d…0%	a…18/18 b…0/18 c…0/18 d…0/18	A					
			事業所が自指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	a	a	a	a	a	a								
			事業所が自指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	a	a	a	a	a	a								
			重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が自指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)														
		2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	a	a	a	a	a	a								
			経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している														
		3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	a	a	a	a	a	a								
			重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している														
			利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている														
		2. 経営における社会的責任	1. 福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる。	1. 福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	a	a	a	a				a	a	a…92% b…8% c…0% d…0%	a…11/12 b…1/12 c…0/12 d…0/12	A
					全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる												
				2. 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	a	a	a	a				b	a			
透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している																	
2. 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	a	a	a	a	a	b	a…75% b…25% c…0% d…0%	a…9/12 b…3/12 c…0/12 d…0/12	A					
			地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている														
	2. 地域の関係機関との連携を図っている	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	a	a	a	b	a	b									
3. 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	1. 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	a	a	a	a	a	a								
			利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる														

5. プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	1. 利用者のプライバシー保護を徹底している	利用者に関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、利用者の同意を得ようとしている	a	a	a	a	a	a…100% b…0% c…0% d…0%	a…12/12 b…0/12 c…0/12 d…0/12	A	
		利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている									
	2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)									
		利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	a	a	a	a	a				
虐待被害にあった利用者がある場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている											
		利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている									
6. 事業所業務の標準化	1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている						a…100% b…0% c…0% d…0%	a…18/18 b…0/18 c…0/18 d…0/18	A	
		手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	a	a	a	a	a				
		提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している									
		職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している									
	2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている									
		提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている	a	a	a	a	a				
		職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる									
	3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている									
		職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している									
		職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている	a	a	a	a	a				
		職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している									
		職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている									

7. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	1. 情報の保護・共有に取り組んでいる	1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	a	a	a	a	a	a	a…100% b…0% c…0% d…0%	a…12/12 b…0/12 c…0/12 d…0/12	A
			収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している									
		2. 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ保護・共有している	保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している									
			事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	a	a	a	a	a	a			
個人情報の保護に関する規定を明示している												
			開示請求に対する対応方法を明示している									
			個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている									

特に良いと思う点
<ul style="list-style-type: none"> • 利用者の個別対応と健康管理は十分配慮している。 • 職員間の情報共有と連携が良い。
特に改善したいと思う点
具体的な改善策

【 外部評価 】

課題・コメント
A評価が増えていることは良いことだと感じる。職員増等により結果として職員のストレスも軽減されているのではないかと。
具体的な改善策
昨年度は、年度途中で生活支援ワーカーの退職者が出たため、職員に負担がかかってしまった部分があったのではないかと思います。良い評価を継続できるように努めて参ります。